

令和4年6月16日
福島県農林水産部水産課
福島県水産資源研究所

ホシガレイ稚魚の放流について

令和4年度ホシガレイ稚魚(全長約6cm)の放流を、下記により実施しますので、お知らせします。

記

1 放流概要

放流日	令和4年6月22日(水)15時～
放流尾数	約2万尾
放流場所	浪江町請戸漁港

※天候等により予定が変更となる可能性があります。放流可否については、当日午前9時以降、福島県水産資源研究所にご確認ください。

2 経緯

福島県では新たな栽培漁業対象種の候補として、ホシガレイ稚魚の生産や放流技術の開発に取り組んでいます。

本年度のホシガレイ放流尾数は2万尾となります。放流後は産地卸売市場に水揚げされたホシガレイに占める放流魚の割合等を調査し、放流効果を検証してまいります。

3 放流する稚魚について

今回放流するホシガレイ稚魚は、国立研究開発法人水産研究・教育機構(以下、水産機構)および福島県水産資源研究所が参画するさけ・ます等栽培対象資源対策共同研究機関が水産庁から受託した「令和3年度さけ・ます等栽培対象資源対策事業」の研究過程で、水産機構宮古庁舎において生産されたものです。

なお、福島県水産資源研究所では令和4年3月16日に発生した福島県沖地震の影響によりホシガレイ稚魚を生産できませんでした。

本件問い合わせ先
福島県農林水産部水産課
主幹 後藤勝彌(内線3262)
電話 024-521-7375
福島県水産資源研究所
主任専門研究員(兼)副所長(兼)種苗研究部長 佐久間 徹
電話 0244-32-0793

ホシガレイの放流履歴

放流年度	放流尾数 (尾)	サイズ (cm)
平成4年	1,000	200
平成5年	0	
平成6年	9,447	9 ~ 10
平成7年	7,820	9.2
平成8年	57,600	9.8
平成9年	1,336	22.6
平成10年	10,780	8.4
平成11年	6,800	7.5
平成12年	8,771	8.3 ~ 51
平成13年	29,505	8.1 ~ 8.8
平成14年	17,790	8.4 ~ 8.7
平成15年	70,546	8.1 ~ 9.2
平成16年	53,214	8.1 ~ 8.9
平成17年	53,380	8.1 ~ 8.7
平成18年	71,009	6.5 ~ 9.1
平成19年	27,602	8.1 ~ 11.1
平成20年	23,303	7.8 ~ 9.9
平成21年	26,377	8.1 ~ 8.9
平成22年	57,842	6 ~ 8.5
平成23年	0	
平成24年	0	
平成25年	0	
平成26年	26,407	5.8 ~ 9
平成27年	18,000	6 ~ 8
平成28年	3,126	6.4 ~ 8.3
平成29年	15,510	7.2 ~ 9.6
平成30年	195,000	7.5 ~ 7.8
平成31年	242,000	6 ~ 8
令和2年	180,000	6 ~ 8
令和3年	80,000	概ね6cm

ホシガレイについて

ホシガレイは全長65cm、体重4kg前後まで成長するカレイ科マツカワ属の一種です。

東北太平洋沿岸、瀬戸内海、九州西部を中心に断片的に分布し、東北太平洋沿岸では、本県及び宮城県で多く漁獲されます。成長が早く、単価が高いことから栽培対象種として期待され震災前は盛んに種苗放流試験が実施されてきました。その結果、震災前は漁獲物の半分近くが放流魚で占められ、高い放流効果が確認されました。

本県と宮城県を合わせた漁獲量は震災前においては7トン程度でしたが、近年は20トン程度であり、大幅に増加しています。

震災後の本県での平均単価は2,100円/kg程度であり、高級魚として知られるヒラメの1,500円/kgと比べても高価です。

ホシガレイは単価が高く、様々な漁業種（さし網、小型底びき網、沖合底びき網）で漁獲されることから、新たな栽培漁業対象種として、また、復興に向けた特色ある魚種として種苗放流による積極的な資源造成への期待が高まっています。

今後は事業化に向け、放流効果を調査してまいります。



図 ホシガレイ